

大雨や台風から身を守ろう！

近年異常気象により大気が不安定になることが多く、「局地的大雨」が多発し、道路冠水や住宅浸水、土砂災害などの深刻な被害をもたらしています。



大雨が降り出したり、台風が接近してきたら

◎情報を収集する

テレビやラジオなどで気象情報の確認をしたり、避難情報が発令されていないか確認しよう。

◎外出を控え、危険な場所には近づかない

田畑や海、河川の様子を見に行こうとしないほか、修理や補強のために屋根の上に上らない。

◎万が一を考え、早めの避難をする

避難所への移動が危険と思われる場合は、近くより安全と思われる建物へ移動しよう。

冠水した場所を歩くときは

◎傘、杖などで足下を確認しながら移動する

濁った水で地面が見えないため、側溝やマンホールのフタがはずれていないかなどを確認しよう。

◎水深が深いときは、運動靴を履く

長靴は水が入って重くなったり、ぶかぶかな長靴は脱げやすく、流されることもあるよ。

身の危険を少しでも感じたときや、自治体から「高齢者等避難」、「避難指示」等が発令された場合には、「大げさだよ!」、「自分は大丈夫!」などと考えずに、速やかに避難を開始しましょう。

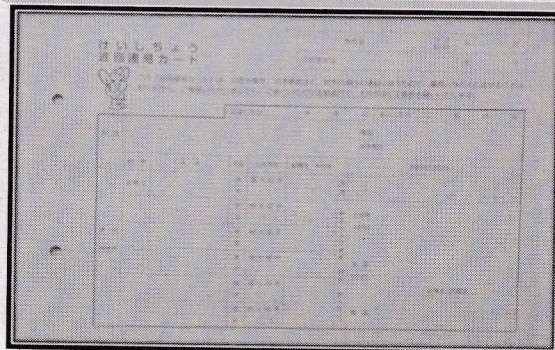


登山靴やアウトドアで使用するようなハイカットの靴があれば、靴底が頑丈で滑りにくいいため、安全を守ることができるよ!

巡回連絡で被害防止の情報発信をしています



巡回連絡カード



「巡回連絡」は街の皆さんが安全で安心した暮らしができるように、ご家庭や会社を訪問して犯罪の予防や事故防止に役立つ情報をお知らせする活動です。

「巡回連絡カード」は事件、事故、災害などに遭われたときなど、非常の場合の連絡に役立つもので、記載にご協力をお願いしております。

例えば、迷子やご高齢者を保護したときのご家族への連絡や、犯罪被害に遭われた被害者、被災された方のご家族への緊急連絡などに利用します。